

# 小さな群れ

カトリック美唄教会

2019年2月 No.261

2019年1月27日発行

## 七つの七倍

ナルチソ神父

毎日曜日、キリスト者は教会でミサを捧げます。

「聖書を読み、司祭の説教を聴き、賛美歌を歌います。司祭としてミサを捧げるたびに、私は心が痛くなる箇所が二箇所あります。一つは「主の祈り」を唱える時です。

「主の祈り」は、イエスさまが教えてくれた祈りですが、神に向かって”天におられる私たちの父よ”と呼びかけます。私だけの父ではなく、私達みんなのお父さん、わたしの嫌いな人のお父さんでもあります。また”私達が人を許すように、私達の罪を許してください”という厳しい祈りを唱えます。まだ許せない人がいる時に、その祈りを唱えることは、正直に言って、非常に複雑な心境です。

もう一つは、平和のあいさつを交わすときです。

典礼の中で進められているあいさつですが、お互いに向かい合って”主の平和”とあいさつします。本当は会いたくない人、まだ許せない人にこそ神の平和を交わすべきなのですが、なるべく相手と目を合わせないようにしてあいさつすることもあります。

マタイ福音書（十八-二十一～三十五）で、イエスさまは、許しの大切さを、例え話で語っておられます。「兄弟がわたしに対して罪を犯したなら、何回赦すべきでしょうか。七回までですか。」というペトロの質問に、「七回どころか七の七十倍まで赦しなさい。」と答えておられます。2005年4月2日に亡くなられた前ローマ法王ヨハネ・パウロ二世は、1981年5月13日、聖ペトロ寺院の広場で、トルコ人に撃たれて重傷を負われましたが1983年のクリスマスの2日後その犯人の刑務所を訪ねて、一緒にコーヒーを飲みながら、心からの赦しを与えられました。

アメリカのブッシュ大統領は、キリスト者として「主の祈り」を毎日唱えるそうですが、2001年9月11日のテロ以来、彼は許しの道よりも正義の道を選びました。

3000人を殺した人達を捕らえて罰を下すといって戦争を起こしましたが、その結果はアメリカ人だけで五千人以上、イラク人はその3～4倍の死傷者がでて、未だに平和は実現しておりません。もしブッシュ大統領が、アメリカ国民と共に、その犯人たちを許していたならば、平和に近づいていたに違いありません。戦争は世が始まって以来、ずっとありますが、イエスさまは平和の道を教えてくれています。”神のごとくゆるしたい。ひとが投ぐるにくしみを、むねにあたため、花のようになったらば、神のまえにささげたい”（八木重吉）



## 2019年2月 主日ミサ・平日のミサ 予定

美唄教会 小さな群れ 2019年2月 No.261  
2019年1月27日発行

2月の先読みは東さんです。教会のために召し出しを願う祈りをとなえます。P 26

日	曜	ミサ		各種勉強会	会議・その他事項
		主日・祭日	時間		
1	金	初金	午前 10:30	ミサ後 聖書に親しむ	
3	日	年間 第4主日	午前 11:00		
8	金		午前 10:30	ミサ後 聖書に親しむ	施設訪問(佐々木、小山) ※幼稚園行事あり
10	日	年間 第5主日 *ミサの中で 聖ブラジオの 取り次ぎによっ てのどの祝別を します	午前 11:00		ミサ後 運営委員会
15	金		午前 10:30	ミサ後 聖書に親しむ	
17	日	年間 第6主日	午前 11:00		
22	金		午前 10:30	ミサ後 聖書に親しむ	
24	日	年間 第7主日	午前 11:00		

《 平日のミサ 》 **金曜日のみ 午前 10:30** 1・8・15・22日  
 《 聖書を親しむ 》 平日のミサ後、旧約聖書に親しんでみませんか。  
 《 ロザリオの祈り 》 1月～3月までお休み

霊名の祝日	清掃当番
2月21日 ドローテア 有野木 幸	【第2週】 河野 【第4週】 東、葛西

◎2月11日世界病者の日です。2月10日ミサの中で聖ブラジオの祝福をします。